

篠崎功子と仲間たち

～コンチェルト・アフタヌーン～

2023年 7月 16日 日

14:00 開演 | 13:20 開場

紀尾井ホール

J. S. バッハ | ヴァイオリン協奏曲 ホ長調 BWV 1042
J.S. Bach | Violin Concerto in E Major, BWV 1042

杉山洋一 | ヴァイオリン協奏曲 「ラ・フォリア」
〈世界初演〉

Yoichi Sugiyama | Violin Concerto "La Folia" (2022-23)
World Premiere

ブラームス | ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品 77
Brahms | Violin Concerto in D Major, Op. 77

全席指定 S席 ¥8,000 / A席 ¥6,000

2022年12月28日(水) チケット発売

チケット予約

東京コンサーツ オンラインチケットサービス
<http://confetti-web.com/TOKYO-CONCERTS>

電話予約 カンフェティチケットセンター

0120・240・540

(平日 10:00 ~ 18:00 / オペレーター対応)



主催 | 篠崎功子と仲間たち実行委員会

後援 | 日本弦楽指導者協会 制作協力・お問い合わせ | 東京コンサーツ 03-3200-9755 (平日 11:00~16:00)

写真 小倉遊子

篠崎功子先生の門下生は、昔から機会あるごとに集っては先生と一緒に演奏する楽しい伝統がありました。教師然としたところの全くない功子先生は、同じ演奏家、音楽家として共に舞台を作りあげる時間をとても大切にいらして、そこで学んだ我々も皆その姿勢を受け継ごうと努力してきました。

「篠崎功子と仲間たち」は、このように先生の下で学び巣立っていった音楽家たちが久しぶりに集まって、以前のように先生と一緒に演奏しようと意気投合して生まれたものです。その輪は瞬間にオーケストラ編成にまで拡がり、先生をソリストにお迎えして、新作のヴァイオリン協奏曲「ラ・フォルア」が誕生するに至りました。「ラ・フォルア」は祈り、そして先生と共に演奏できる喜び、我々から音楽への慈愛を表現します。功子先生がそれぞれの持ち味を常に尊重して下さっていたおかげで、門下生はみな個性派揃いです。そんな皆が顔を合わせて演奏すると、一体どんなものが生まれるのでしょうか。今からわくわく心を躍らせるばかりです。

杉山洋一



篠崎功子 Isako Shinozaki

「ヴァイオリン早教育」で著名な父、篠崎弘嗣に幼少の頃からヴァイオリンを学び、4歳で初舞台、14歳で第一回ソロ・リサイタルを日比谷公会堂で開き、注目を集める。この頃から、ラロ、メンデルスゾーン、ベートーヴェン、ブラームス、チャイコフスキー等の協奏曲を数多くのオーケストラと協演。東京藝術大学付属音楽高等学校にて、兎東龍夫氏に師事。桐朋学園大学音楽学部にて、ジャンヌ・イスナール、斎藤秀雄の両氏に師事。1964年、NHK・毎日新聞社主催、第33回日本音楽コンクール第一位、大賞並びにレウカディア賞を受賞。同年、海外派遣コンクールで安宅賞を受賞。1966年、イタリアジェノヴァで開かれるバガニーニ国際コンクールで第三位。1968年、フランスに留学、旧師ジャンヌ・イスナール氏に学ぶ。1974年、ロドリゴのヴァイオリン協奏曲を日本初演、ロドリゴの招きで、スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラフェスティバルに参加。1977年から、演奏家7名、作曲家7名の協業による「アンサンブル・ヴァン・ドリアン」の一員として、多くの現代作品の紹介に努める。1983年、第一回中島健蔵賞を受賞。以後、ソリストとして、多くのオーケストラと協演する他、室内楽、現代曲の演奏にも積極的に取り組み、池田晋一郎プロデュースの“Sound Splash”に出演するなど、邦人作品の初演も数多く、中国、東南アジア、アメリカ、南米、スペイン、ドイツ、オーストリア等でも演奏を行っている。石井眞木、山田泉、池田晋一郎、一柳慧などの作品演奏のCDをリリース。また、「新しいヴァイオリン教本」「若い人のヴァイオリン教本」「学生協奏曲」など、教則本のCDも高い評価を得ている。桐朋学園大学音楽学部特命教授、日本弦楽指導者協会理事、元東京音楽大学客員教授。

篠崎功子と仲間たちオーケストラ



指揮 杉山洋一



指揮 清水醍輝



コンサートマスター 木野雅之

指揮 杉山洋一／清水醍輝

篠崎功子と仲間たちオーケストラ

- コンサートマスター 木野雅之
- ヴァイオリン 伊師裕人／伊藤 梢／井上智香子／古日山倫世
佐藤有希乃／重泉杏佳／白井 篤／芹田 碧
高橋恵子／中村備生／平塚佳子／前野咲希／山田百子
- ヴィオラ 安達真理／城戸喜代／南山華央倫／村田晃歌
森野 開／矢澤結希子
- チェロ 菊田鉄平／菊田雅治／菊地知也／松岡陽平
- コントラバス 黒岩 哲／菅沼希望／吉田 秀
- フルート 白尾 彰
- オーボエ 古部賢一
- クラリネット 四戸世紀
- ファゴット 保崎 佑
- ホルン 水野信行
- トランペット 服部孝也
- ティンパニ 菅原 淳
- チェンバロ 安宅 薫

他（五十音順）

*やむを得ず出演者、曲目などに変更がある場合がございます。
*本公演は新型コロナウイルス感染予防、拡散防止への対応策を徹底した上で実施いたします。

ACCESS

- 四ツ谷駅 赤坂口・麴町口（JR線・丸の内線・南北線） 徒歩6分
- 麴町駅 2番出口（有楽町線） 徒歩8分
- 赤坂見附駅 D出口（銀座線・丸の内線） 徒歩8分
- 永田町駅 7番出口（半蔵門線） 徒歩8分

紀尾井ホール

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号

杉山洋一 Yoichi Sugiyama

幼少よりヴァイオリンを篠崎功子、篠崎功子両氏に師事。そののち、作曲を三善晃、F. ドナトーニ、S. ゴルリに、指揮をE. ボマリコ、岡部守弘に学ぶ。作曲家として、ミラノ・ムジカ、ベネチア・ピエナーレをはじめ、国内外より多くの委嘱を受ける。代表作として、大統領令に基づく打楽器奏者のための『壁』、チベット民謡による『馬』、女声と室内楽のための『杜甫二首』、ブリアート族シャーマンの旋律に基づく三味線と弦楽合奏のための『歩み』、十七絃のための『鶴』がある。また日欧で指揮者としても活躍している。携わった主な劇場作品に『プロメテオ』、『ファルスタッフ』、『クラーネルク』、『チョムスキーとの対話』、『暮の名人』、『大鴉』などがある。作曲家として、第13回佐治敬三賞、第2回一柳慧コンテンポラリー賞受賞。指揮者として、第68回芸術選奨文部科学省大臣新人賞受賞。10年サンマリノ共和国サンタアガタ騎士勲章受勲。ミラノ市立クラウディオ・アッパード音楽院教授。ミラノ在住。

清水醍輝 Daiki Shimizu

ヴァイオリンで第57回日本音楽コンクール第1位。増沢賞、特別賞受賞。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽部を共に首席で卒業。奨学金を受けウィーン市立音楽院に留学。在学中同学院オーケストラと共演。欧州各国にてリサイタルを行う。これまでに、故小国英樹、故江藤俊哉、トーマス・クリスティアン各氏に師事。イヴリー・ギトリス、ノーバート・ブレイニンなどのマスタークラスを受講。1998年に帰国し、2001年11月まで新日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスター。その他、国内数々の主要オーケストラにてゲストコンサートマスターを務める。指揮では、キンポー・イシイ氏に師事。同氏の公演では度々アシスタントも務め、その音楽性、信頼性の評価は高い。2012年ヨルマ・パヌラ氏指揮科マスタークラスのディプロム取得。国内の主要オーケストラを指揮。他、桐朋学園音楽部非常勤講師、また多数のアマチュアオーケの指導、演奏会など多方面にわたる活動を行っている。

